

## 製品取扱説明書

この度はSeymour Duncan PowerStage™ 100 STEREO -Pedalboard Guitar Ampをお買い求め頂き誠にありがとうございます。この機器の優れた機能を十分ご理解いただくためにも取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書は必要ときにすぐ見ることができるよう、手元においてください。

POWER STAGE 100 STEREOは近年盛り上がりを見せるモデリングデバイスや高品質なペダルを使用するプレイヤーに向けて、ペダルボードに取り付けたりギグバックに直接入れて持ち運びが可能な小型かつ高い品質を持ち合わせたペダル型100W STEREOアンプです。信頼性やクリーンな電源は勿論、イコライザー、キャビネットシミュレーターを搭載し、様々なシチュエーションの現場に参加するギタリストが必要とする機能を搭載しました。

チューブレスのパワーアンプですが、従来の無機質なサウンドではなく真空管アンプのような暖かく深みのあるサウンドを出力し、家のベッドルームで練習する様な小さな音から、ライブハウスなどの大きな会場で使用した場合にも安定した性能を発揮する事が可能です。L・R各100Wの出力(4Ω接続時)を持った2つの1/4インチスピーカー出力を備えており(インピーダンスの調整は内部で行われます)キャビネットにスピーカーケーブルを繋ぐだけで使用できます。POWER STAGE 100 STEREOは様々な環境でシンプルかつ柔軟な使い方が出来る機能が搭載されています。

・**DI (XLR) アウトプット：キャビネットシミュレーター** - 多くのギタリストがさまざまな場所で演奏する事を念頭に置き、キャビネットシミュレーター(4×12クローズドバック)を備えたDI (XLR) 出力ジャックを搭載しています。どのような環境でも自分のトーンをマイク無しで客席や、モニタリングシステムに送信する事が出来ます。

・**5バンドイコライザー** - LOW/MID/HIGH MID/HIGH/PRESENCEを調整可能な5バンドイコライザーを搭載しています。

・**独立したキャビネットシミュレーターとイコライザーのバイパススイッチ** - キャビネットシミュレーターやEQセクションに搭載されたバイパススイッチを使用することで、IRデバイスやモデリングEQなど外部のハードウェアやDTM内のソフトウェアを使いレコーディングする事が可能です。

POWER STAGE 100 STEREOは、様々なDUNCAN PICKUPを創りあげたチームによりカリフォルニア・サンタバーバラの自社工場にて製作されています。

### 各部の名称と働き

#### Top Panel

1.Level Control - アンプの出力を調整します。

2.Bass Control - 低音域を調整します。 +/- 13.2dB @74Hz Q-1.1

3.Low-Midrange Control - 低中音域を調整します。 +/- 13.5dB @389Hz Q-0.77

4.Hi-Midrange Control - 高中音域を調整します。 +/- 13.5dB @1.55kHz Q-0.82

5.Treble Control - 高音域を調整します。 +/- 13.6dB @4.6kHz Q-0.71

6.Presence Control - 超高音域を調整します。 +/- 13.6dB @11.0kHz Q-0.66

7.Power Amp EQ On/Off - Speaker OutにかかるEQのOn-Offを切り替えます。  
※各EQのレベルをあげると全体の音量も上がっていきますので、その都度レベルの調整をして下さい。

8. Cabinet Simulation Push-button - キャビネットシミュレーターのOn-Offを切り替えます。(4×12 close back)  
※Balanced Line Outに対して効果のあるキャビネットシミュレーターのOn-Offを切り替えます。  
※Speaker Output Jackから出力される信号には影響はありません。

9. EQ Push-button - Pre-Post EQのOn-Offを切り替えます。  
※Balanced Line Outに対して効果のあるEQのOn-Offを切り替えます。  
※Speaker Output Jackから出力される信号には影響はありません。

10.Power Indicator - 電源がOnになると青いLEDが点灯し、Offになると消灯します。

11.Power Amp Clip/Over-Current Indicator - 二つの機能があるインジケータです。

- ・パワーアンプがクリッピングポイントから1dB以内にある際に点灯します。
- ・過電流状態が存在する場合常時点灯します。
- ※詳細は「保護機能」の説明を御確認下さい。

12.Pre-Amp Clip/Status Indicator - 二つの機能があるインジケータです。

- ・プリセクションからの信号がクリッピングポイントから6dB以内にある際に点灯します。
- ・電源/パワーアンプモジュールのステータスに異常があると点灯します。
- 継続的に点灯している場合は1つ以上の問題が有り機能がシャットダウンしています。
- ※詳細は「保護機能」の説明を御確認下さい。

### Back Panel

13.Input Jack (1/4Inch Mono x 2) - ギターからの信号や、プリセクションからの信号を接続します。  
※モノラル接続の場合はInput Rを使用してください、ステレオの場合はInput RとLに接続してください。

14.Balanced Line Output (Male XLR) - XLRケーブルを接続します。  
※Input Rからの出力はBalanced output Rより、Input Lからの出力は Balanced output Lより出力されます。  
※Input Rを使用したモノラル接続の場合Balanced output R/Lのどちらからも音が出力されます。

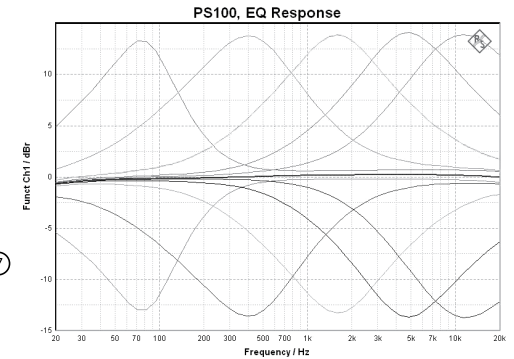
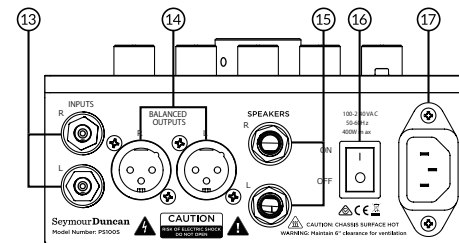
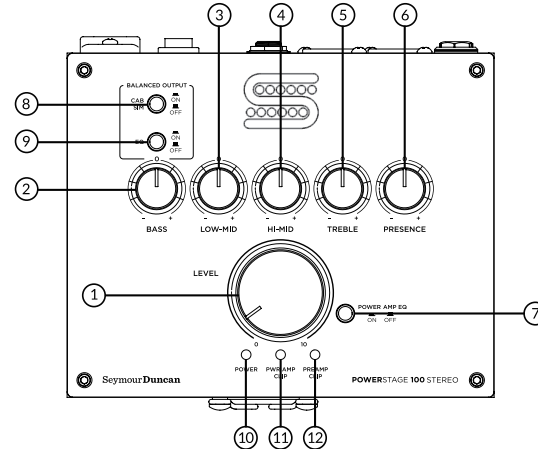
15.Speaker Output Jack (Dual 1/4" mono) - スピーカーケーブルを接続します。  
※Input Rからの出力はSpeakers output Rより、Input Lからの出力はSpeakers output Lより出力されます。  
※Input Rを使用したモノラル接続の場合Speakers output R/Lのどちらからも音が出力されます。

16.Power Switch - 電源のON/OFFを切り替えます。

17.Power Cord receptacle - 電源ケーブルを接続します。

※必ず付属の電源ケーブルをお使い下さい。

※他社製の電源ケーブルを使用して本機が破損した場合、保障の対象外になります。



## 使用方法

※下記説明を参照しながら接続を行ってください

Power Stage 100 STEREOからキャビネットへの接続方法

- 必ず高品質なスピーカーケーブルを使用し、通常のギター用ケーブルは絶対に接続しないで下さい。
- パワーアンプはブリッジタイドロード構成で動作しますので、パワーアンプとスピーカーの接続でアース接続を行わないで下さい。

**警告！4Ω未満のインピーダンスには対応していません。**

## 使用前の確認

- レベルコントロールを0にします。
  - 安全情報に記載されているすべての注意事項を守り電源コードを接続してください。
  - 電源スイッチをONにし、青いLEDインジケータが点灯したらアンプを使用準備が完了です。
  - 赤色のLEDが点灯したままの場合は、電源をオフにしてスピーカーケーブルを抜いてください。
- ※抜いた状態で電源をONにしてみてもLEDが消えれば、ケーブルにショートや断線などの症状がある可能性があります。
- プリアンプクリップインジケータ(左から3番目のLED)を使用して、適切な入力レベルを設定します。
- LEDが点灯する直前までプリセクションの出力を上げます。
- ※設定後POWER STAGE 100 STEREOのEQを調整した場合は再設定が必要な場合があります。

- レベルコントロールをゆっくり上げて音量バランスを整えてください。
- 最後の調整としてEQを調整し、サウンドの補正を行います。

**警告！このアンプは、非常に高い音圧レベルを生成することができます。**

高い音圧レベルに継続的にさらされると、永続的な聴覚障害を引き起こす可能性があります。

長時間使用する場合は安全なリスニングレベルに設定するか、イヤープラグなどを使用し聴覚保護をして下さい。

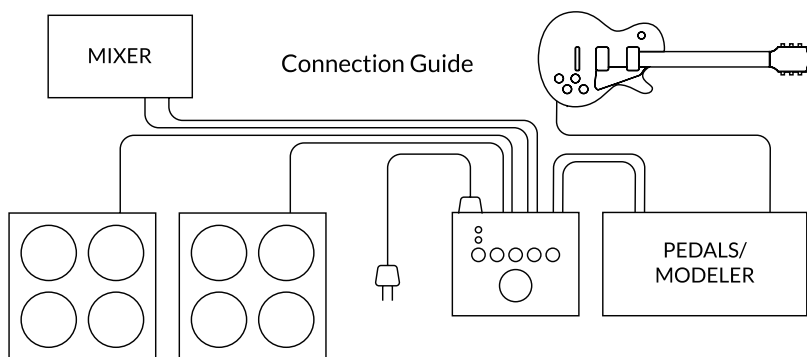
## 取り扱い終了後の注意

- LEVEL CONTROLを0にした状態で電源をOFFして下さい。
- ケーブル類は電源OFF後に外すようにして下さい。

**警告！**

アンプは長時間の使用後に高温になる可能性があります。

取り扱い前に十分な冷却時間をとってください。



## 保護機能

このアンプには、不測の事態に備えて回路を保護する機能を搭載しています。

## パワーアンプクリップ/過電流/過熱インジケータ

このLEDが点灯している際は次のことを示します。

- パワーアンプのクリッピング
- パワーアンプの電流制限
- パワーアンプの過熱警告

このLEDの点灯は、次の原因で発生する可能性があります。

- スピーカーケーブルのショート。
- スピーカーのボイスコイルとマグネットのショート。
- 出力信号のショート。
- 最大定格を超える総スピーカーインピーダンス。(スピーカー/キャビネットの並列組み合わせ)
- レベルコントロールの設定が高すぎる。
- 内部の故障が考えられます。

## 熱保護回路：

出力段と電源の温度が125°Cに近づくと、インジケータが点灯し続けます。温度が150°Cに達すると回路がシャットダウンされ使用できなくなります。

120°Cを下回るとリセットされ再起動します。

温度が上がる要因は下記の原因が考えられます。

- アンプ周辺の空気循環が悪い。
- 通気口が塞がれている。
- 冷却ファンが止まっている。
- 周囲温度が高すぎる。
- 高電力と相まって、出力の高負荷(低インピーダンス負荷)がかかる。
- 上記のいずれかまたはすべての組み合わせ。

## プリアンプクリップ/ステータスインジケータ

このLEDが点灯している際は次のことを示します。

- プリアンプのクリップ

入力信号がクリッピングレベルより6dB以内にあると、LEDが点灯し始めます。

※このLEDが信号のピーク時に点灯するように、POWER STAGE 100 STEREOに入力するオーディオデバイスの出力レベルを調整する必要があります。

- 保護回路の作動  
アンプに高い負荷が発生すると、LEDが点灯し自動的にシャットダウンします。

このLEDの点灯は、次の原因で発生する可能性があります。

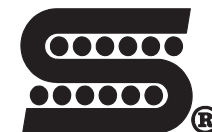
- スピーカーのショートにより過電流状態になった時。
- 高負荷をかけ続けることによる過熱状態になった時。
- 不十分な空気の換気による過熱状態になった時。
- 内部の故障が考えられます。

※修理については全国のSEYMOUR DUNCAN取扱店にお問い合わせください。

セイモア・ダンカン日本総代理店(株)イー・エス・ピー [www.espguitars.co.jp](http://www.espguitars.co.jp)

・ESP 営業本部 〒354-0046 埼玉県入間郡三芳町竹間沢東3-9 TEL 049-274-3810 (代)

・ESP 大阪営業 〒530-0023 大阪府大阪市北区黒崎町1-15 TYビル201 TEL 06-6359-0455 (代)



## 安全上のご注意

**警告：火災や感電のリスクを減らすために雨や湿度が高い場所に使用や保管はしないで下さい。**

**注意：感電防止のため、パネルやカバーをはずさないでください、本機の内部には、お客様が修理／交換できる部品はありません。修理が必要の際は全国のSEYMOUR DUNCAN取り扱い店舗に依頼してください。**

**本機の内部に絶縁されていない箇所があり、感電の危険性があります。**

**取扱説明書などに、一般的な注意、警告、危険の説明が記載されています。**

**高温になる可能性がある箇所があり怪我の危険性があります。**

**保護接地の適切な取り付けポイントがあります。**

**資格を持った電気修理技術者が修理を行う場合はIEC電源ソケットのアース端子を、適切な接続点に取り付ける必要があります。**

### ・重要な安全に関する注意事項

1.本機を正しくお使いいただくために別紙製品マニュアルと本紙安全上のご注意をお読みください。お読みになったあとはすぐに見られるところに保管しておいてください。

2.このマニュアルに記載されているすべての安全上の注意、警告、および指示に従ってください。

- 3.警告：火災や感電のリスクを減らすために次のような場所で使用や保管はしないで下さい。
- 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
  - 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
  - 湯気や油煙が当たる場所
  - 塩害の恐れがある場所
  - 雨に濡れる場所
  - ほこりや砂ぼこりの多い場所
  - 振動や揺れの多い場所
  - 風通しの悪い場所

4.お手入れをするときは電源プラグをコンセントから抜き、乾いた布で拭いてください。

5.この製品を正しく動作させるには換気が必要になりますので、ファンの前に物を置かないで下さい。シャーシの側面にある開口部または通気口に対して最低でも10cmのクリアランスを作って使用してください。

6.この製品を熱源から遠ざけてください。

7.使用する前に電源コードに損傷がないことを確認してください。

8.電源コードのアースを確実に取り付けてください、感電の恐れがあります。感電を防ぐために付属の電源コードを使用しアースを確実に取り付ける必要があります。付属の電源コードには感電と機器の損傷を防ぐためにアース用電極端子を加えた3端子のプラグがついています。

9.製造元の指示に従ってペダルボードに設置をして下さい、ペダルボードに設置しない場合でも指示に従い使用して下さい。

10.異常や故障が生じたときは電源を切ってください。

11.メーカーが指定したアタッチメント/アクセサリのみを使用してください。

12.雷雨の際または長期間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。

13.感電の危険がありますので絶対に製品を分解しないで下さい。

次のような場合は、直ちに電源を切って電源コードをコンセントから抜き、SEYMOUR DUNCAN取り扱い店舗にて修理を依頼して下さい。

- 電源コードが破損したとき。
- 煙が出たり、異臭がしたりしたとき。
- 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき。
- 機器が（雨などで）濡れたとき。
- 機器に異常や故障が生じたとき。

14.警告-お子様がけがをしないように注意してください。

お子様のいる環境で使用する場合やお子様自身が使用する場合、必ず大人の方が監視／指導してください。

### ・コンプライアンス ステートメント

注：この機器はテスト済みであり、米国FCC規則のパート15に準拠したクラスBデジタルデバイスの制限に準拠していることを確認済みです。

これらの制限は、住宅設備での有害な干渉に対する合理的な保護を提供するように設計されています。

この装置は無線周波数を生成し、指示に従って設置および使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。

この機器がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こす可能性がある場合は、機器のオンとオフを切り替えることで判断できます。

ユーザーは、次の1つ以上の方法で電波の干渉を修正することをお勧めします。

対策：

- 受信アンテナの向きを変えるか、置く場所を変えてください。
- 機器と受信機の間の間隔を広げてください
- 機器を、受信機と違うコンセントに接続してください。
- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談してください。

このデバイスは、Japan VCCI V3でテストされ、準拠していることが確認されています。

VCCI評議会の基準に基づくクラスB製品です。

これを使用する場合家庭環境のラジオやテレビの受信機の近くでは電波が干渉し、ラジオが発生する可能性があります。

取扱説明書に従って装置を設置して使用してください。

このデバイスはテスト済みであり、製品安全指令ENに準拠していることが確認されています。

オーディオ/ビデオ、情報通信技術機器用の62368-1。

EU、AS / NZ、および日本の偏差がテストに含まれています。

注：この機器に対する変更または修正が、明示的に承認されていない場合

Seymour Duncanは、この機器を操作するユーザーの権限を無効にする可能性があります。

## ・アンプを使用する前に

### AC回路の電圧と容量を確認する：

このアンプは、100～240VAC、50 / 60Hzの線間電圧に対応するように設計されています。

この範囲外の電圧に接続すると動作が不安定になったり、ユニットに修復不可能な損傷が発生したりする可能性があります。

100V未滿または240VACを超える電圧への接続によって引き起こされた損傷は保証の対象外です。

シャーシ内にある部品にはユーザーが入手出来る物はありません。製品を開封したり自分で修理したりしないでください。

最大負荷条件下ではこのアンプは大電流を必要とする場合があります。

適切な性能を確保し安全上の問題を回避するために、最低15アンペアの電流を供給できる回路にのみ接続してください。

加熱装置、電子レンジ、高ワット数の照明など他の大電流消費者と同じ回路に接続すると、回路ブレーカーやヒューズが飛ぶ可能性があります。

コンプレッサー、冷蔵庫、エアコンなどのモーターを備えた機器と同じコンセントにオーディオ機器を接続しないでください。

モーターの起動時にサウンドに高レベルの不要なノイズが発生したり、電力が低下したりする可能性があります。

### 熱と換気：

空気循環のためのバック面とトップ面、側面の周りにスペースを確保してください。

直射日光の当たる非常に高温の場所での使用や、暖房設備の近くでの使用は避けてください。

湿気の多い場所や湿度の高い場所での使用は避けてください。

側面のファン開口部や通気孔を塞がないでください。

十分な空気の流れを確保し、アンプの上にコートや毛布を置かないでください。

POWERSTAGE 100 STEREO  
Tech Specs

### POWER SPECIFICATIONS

#### 最大出力

- 4Ω load - 120W @ 1% THD+N, 1kHz
- 4Ω load - 150W @ 10% THD+N, 1kHz
- 8Ω load - 60W @ 1% THD+N, 1kHz

#### 連続出力電力

- @ 120VAC/60Hz - 115W
- @ 230VAC/50Hz - 115W

#### 電源電圧

- 100 to 240 VAC, 50/60 Hz

#### 総電力効率

- Po = 2x100W - 72%

※上記の仕様は、周囲温度25℃、信号周波数1kHzの場合です。

※換気が不十分であったり周囲温度が高いと、サーマルシャットダウン回路が早期に作動します。

### オーディオ スペック

#### スピーカー出力

- THD + N @ 1kHz, 最大定格電力 - ≤1%
- THD + N @ 1kHz, 10V 出力, 4Ω - 0.003%
- 出力基準ノイズ - ≤77μV, A-weighted
- ダイナミックレンジ, A-weighted - 109dB
- バランス・ラインアウト SN比 - 97.6dB
- スピーカーアウト SN比 - 89.5dB
- 帯域幅 - 15 Hz to 22 kHz ± 3 dB, 20 Hz to 20kHz @ nominal power

#### EQ パラメーター

- Bass +/- 13.2 dB @ 74 Hz Q-1.1
- Low Midrange +/- 13.5 dB @ 389 Hz Q-0.77
- High Midrange +/- 13.5 dB @ 1.55 kHz Q-0.82
- Treble +/- 13.6 dB @ 4.6 kHz Q-0.71
- Presence +/- 13.6 dB @ 11.0 kHz Q-0.60

#### 環境仕様

- 周囲動作温度 - 0° to 50°C
- 相対湿度 - 85%, ※結露させない状態で
- 高度 - 2000mまで (6500 ft.)
- 重量 - 1.3kg

セイモア・ダンカン日本総代理店(株)イー・エス・ピー [www.espguitars.co.jp](http://www.espguitars.co.jp)

・ESP 営業本部 〒354-0046 埼玉県入間郡三芳町竹間沢東3-9 TEL 049-274-3810 (代)

・ESP 大阪営業 〒530-0023 大阪府大阪市北区黒崎町1-15 TYビル201 TEL 06-6359-0455 (代)

